

NPO表彰
須賀の府
横内閣

不登校の子どもも支援

活動への評価広まれ

内閣府が子どもや若者の支援に取り組む企業や団体、個人を対象に実施している「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」で、不登校や引きこもりの子ども、若者を支援しているNPO法人「アンガー・ジユマン・よこすか」が、本年度の内閣府特命担当相表彰に選ばれた。

(高橋 融生)

アンガー・ジユマン・よこすかは、市の適応指導教室や引きこもりの保護者会活動を通して、教育関係者や地元有志が設立。京急線横須賀中央駅近くの上町商店街にあった空き店舗に、就

労体験の拠点として「はるかぜ書店」を開いた。現在の正社員・支援会員は合計163人。中学生から20代前半までの50人が利用している。10月には引きこもりの若者が一定期間にわたって集団生活をするシェアハウスを開き、自立を支援している。

21日に首相官邸で表彰式が実施され、

自立を通じて就労体験を支援している「アンガー・ジユマン・よこすか」の書店
＝横須賀市上町



22日に吉田雄人横須賀市長を訪問して表彰を報告した。

島田徳隆理事長(39)は「子どもから若者まで途切れない支援をするための居場所を提供していきたい」。

石井利衣子事務局長(34)は「表彰をきっかけに、こうした活動への評価が広まっていけば」と話した。